

「マスクの着用」の見直し等について

	現在の考え方	3月13日から	4月1日から	5月8日以降 (5類感染症へ移行)
一般	<ul style="list-style-type: none"> ○屋内：身体的距離が確保でき会話をほとんど行わない場合を除き、着用推奨 ○屋外：季節を問わず、原則不要 ※身体的距離が確保できず会話する場合は着用推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本 ○国はマスク着用の効果的な場面等を周知 		<ul style="list-style-type: none"> ○特措法に基づく協力要請等は終了 ○基本的対処方針は廃止
学校	<ul style="list-style-type: none"> ○身体的距離が十分確保できない場合は着用推奨 それ以外は不要 ○体育の授業時も不要 	<p>卒業式は、児童生徒等がマスクを着用せず出席することを基本（各学校の実情に応じて対応）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○マスク着用を求めないことを基本 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ○業種別ガイドラインの遵守 <p>業種別ガイドラインの見直し作業（食事中以外のマスク着用の推奨の削除など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○見直し後の業種別ガイドライン適用 ○感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業者にマスクの着用を求めることは許容 		

「マスクの着用」が効果的な場面について

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など

基礎疾患を有する方



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

○3月13日以降のマスク着用

- ・個人の判断に委ねることが基本となりますが、左上の場面では、国がマスクの着用を推奨しています
- ・左下はマスク着用が効果的な事例です
- ・なお、3月13日以降も、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されます

○マスクの効果

- ・感染している方（無症状の方も含む）が着用した場合は、周囲に感染を広げない効果があります
- ・感染していない方が着用した場合は、自分を感染から守る効果があります
- ・なお、自分からのウイルス拡散を防ぐ効果が、より高いとされています〔厚生労働省HPより〕

県民のみなさまへのお願い

- 基本的にはマスクの着脱は個人の判断が尊重されますので、本人の意思に反して強いることがないよう、ご協力をお願いします
- ただし、重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、推奨されている場面でのマスク着用にご協力を
- また、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めたときはご理解を
- マスク着用の考え方が見直されても感染対策は重要ですので、引き続き「3つの密の回避」「人と人との距離の確保」「手洗い等の手指衛生」「換気」等の励行を